

全鉄連流通動態調査結果表 平成28年6月分

(28.7.25)

全国鉄鋼販売業連合会

品 種	地 区	前月在庫量		仕入量		販売量		当月在庫量		
		5月実績	前月比	6月実績	前月比	6月実績	前月比	6月実績	前月比	
異形棒鋼	東京	6,403	80.4%	55,787	107.5%	55,922	104.6%	6,268	97.9%	
	大阪	6,279	100.4%	24,167	93.2%	24,710	95.4%	5,736	91.4%	
	愛知	6,098	93.7%	3,313	149.8%	2,708	103.2%	6,703	109.9%	
	計	18,780	90.6%	83,267	104.0%	83,340	101.6%	18,707	99.6%	
形 鋼	山形鋼	東京	20,719	105.6%	8,572	90.5%	9,189	109.6%	20,102	97.0%
		大阪	19,875	103.5%	9,259	95.8%	9,840	109.4%	19,294	97.1%
		愛知	11,951	98.2%	6,215	95.9%	6,352	94.9%	11,814	98.9%
		計	52,545	103.0%	24,046	93.8%	25,381	105.4%	51,210	97.5%
	溝形鋼	東京	16,017	109.3%	5,509	80.6%	5,808	106.2%	15,718	98.1%
		大阪	11,756	107.1%	6,763	109.2%	5,883	108.7%	12,636	107.5%
		愛知	8,211	105.3%	4,972	97.7%	4,543	97.1%	8,640	105.2%
		計	35,984	107.7%	17,244	95.2%	16,234	104.4%	36,994	102.8%
	H形鋼	東京	29,562	97.0%	13,124	107.3%	14,031	106.8%	28,655	96.9%
		大阪	38,098	94.5%	23,238	105.7%	24,183	100.0%	37,153	97.5%
		愛知	23,828	99.7%	12,670	107.4%	12,989	109.4%	23,509	98.7%
		計	91,488	96.6%	49,032	106.6%	51,203	104.1%	89,317	97.6%
合 計		180,017	100.5%	90,322	100.6%	92,818	104.5%	177,521	98.6%	
コ ラ ム	東京	10,165	96.4%	3,161	132.6%	3,318	120.2%	10,008	98.5%	
	大阪	10,934	96.7%	3,951	127.9%	4,449	128.6%	10,436	95.4%	
	愛知	2,112	100.0%	950	108.2%	861	98.0%	2,201	104.2%	
	計	23,211	96.9%	8,062	126.9%	8,628	121.5%	22,645	97.6%	
軽量C形鋼	東京	3,489	100.3%	2,560	120.4%	2,517	119.0%	3,532	101.2%	
	大阪	3,275	98.5%	2,093	127.9%	2,188	129.8%	3,180	97.1%	
	愛知	2,889	100.7%	1,418	108.3%	1,341	104.1%	2,966	102.7%	
	計	9,653	99.8%	6,071	119.7%	6,046	118.8%	9,678	100.3%	
総 計		231,661	99.2%	187,722	103.6%	190,832	104.3%	228,551	98.7%	

(注) ①単位トン ②調査対象企業 東京31 大阪21 愛知15 合計67社

※この資料は経済産業省、鉄流懇関係者、報道機関のみ配布しています。

〔調査内容変更について〕

昭和48年4月より開始された本調査は、平成12年4月実績発表まで27年間同一フォーム内容で実施され、鋼材二次流通の実態を表す資料とされていた。しかし、この間に調査品目の中には流通性がなくなった品種、また、未調査品種ながら、市場性が高い品種など鋼材市場においてさまざまな品種の盛衰があった。そこで全鉄連常任理事会において、本調査の見直しが提議された。そして、平成12年5月分実績より従来の流通動態調査を改訂し、上記のとおり発表することとなった。

その変更内容は①調査対象品種にコラムを追加②調査対象品種よりプレーン、不等辺山形鋼、I形鋼、デッキ・キーストンを除外する③契約残調査を取り止める、以上3点である。また、本調査を「特約店流通動態調査」と称していたが、これを「全鉄連流通動態調査」と呼称変更した。これは調査機関である当会が全国鉄鋼販売業連合会に名称変更したことによる。また、平成13年5月実績をもって調査対象品種変更後1年が経過した。この間、暫定的な数量をもって時系列表及びグラフを作成していたが、それを改め月表の数値と一致するように改訂した。